

2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年11月11日 (火)
日本ハム株式会社

目 次

1. 2009年3月期 第2四半期連結業績の総括
2. 2009年3月期 下期の見通し
3. 2009年3月期 第2四半期財務データ

2009年3月期 第2四半期連結業績の総括

1. 2009年3月期 第2四半期連結業績概要
2. 2009年3月期 第2四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》
3. 2009年3月期 第2四半期連結業績ハイライト
4. オペレーティング・セグメント情報
5. 営業利益の実績計画差および通期修正計画差の要因分析
6. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
7. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
8. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
9. 海外 主要地域別業績実績

2009年3月期 第2四半期連結業績概要

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2008年3月期実績			2009年3月期第2Q累計実績及び下期・通期修正計画					
	第2Q 累計実績	下期	通期	第2Q 累計実績	前年 同期比	下期 修正計画	前年 同期比	通期 修正計画	前年比
売上高	506,448	525,843	1,032,291	536,814	6.0	538,186	2.3	1,075,000	4.1
ハム・ソーセージ	64,131	68,689	132,820	65,054	1.4	68,446	△ 0.4	133,500	0.5
加工食品	92,387	93,347	185,734	94,690	2.5	94,810	1.6	189,500	2.0
食肉	273,660	284,309	557,969	308,373	12.7	301,127	5.9	609,500	9.2
牛肉	107,587	105,743	213,330	113,950	5.9	107,550	1.7	221,500	3.8
豚肉	107,383	109,053	216,436	116,537	8.5	115,463	5.9	232,000	7.2
鶏肉	48,148	58,521	106,669	66,877	38.9	67,123	14.7	134,000	25.6
その他食肉	10,542	10,992	21,534	11,009	4.4	10,991	△ 0.0	22,000	2.2
水産	42,218	44,008	86,226	41,438	△ 1.8	38,562	△ 12.4	80,000	△ 7.2
乳製品	10,637	11,487	22,124	10,936	2.8	11,564	0.7	22,500	1.7
その他	23,415	24,003	47,418	16,323	△ 30.3	23,677	△ 1.4	40,000	△ 15.6
売上原価	414,614	428,393	843,007	431,978	4.2				
売上総利益	91,834	97,450	189,284	104,836	14.2				
売上総利益率	18.1%	18.5%	18.3%	19.5%	1.4				
販売費及び一般管理費	85,749	86,044	171,793	84,561	△ 1.4				
営業利益	6,085	11,406	17,491	20,275	233.2	3,725	△ 67.3	24,000	37.2
税引前利益(△損失)	▲ 429	5,352	4,923	11,032	-	8,968	67.6	20,000	306.3
当期純利益(△損失)	▲ 2,229	3,784	1,555	6,476	-	5,524	46.0	12,000	671.7

*米国会計基準を組替えて表示しております。

*前年比は、対前年増減率で表示しております。

2009年3月期 第2四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2008年3月期実績			2009年3月期第2Q累計実績及び下期・通期修正計画					
	第2Q 累計実績	下期	通期	第2Q 累計実績	前年 同期比	下期 修正計画	前年 同期比	通期 修正計画	前年比
《所在地別セグメント状況》									
国内売上高	455,741	481,114	936,855	488,595	7.2	489,405	1.7	978,000	4.4
外部顧客売上高	455,351	480,717	936,068	488,098	7.2	-	-	-	-
セグメント間内部売	390	397	787	497	27.4	-	-	-	-
国内営業利益	8,147	13,906	22,053	19,730	142.2	-	-	-	-
国内売上高営業利益率	1.8%	2.9%	2.4%	4.0%	2.2	-	-	-	-
海外売上高	97,865	90,011	187,876	95,780	△ 2.1	96,220	6.9	192,000	2.2
外部顧客売上高	51,097	45,126	96,223	48,716	△ 4.7	-	-	-	-
セグメント間内部売	46,768	44,885	91,653	47,064	0.6	-	-	-	-
海外営業利益	△ 2,318	△ 2,404	△ 4,722	573	-	-	-	-	-
海外売上高営業利益率	-	-	-	0.6%	-	-	-	-	-

＊所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

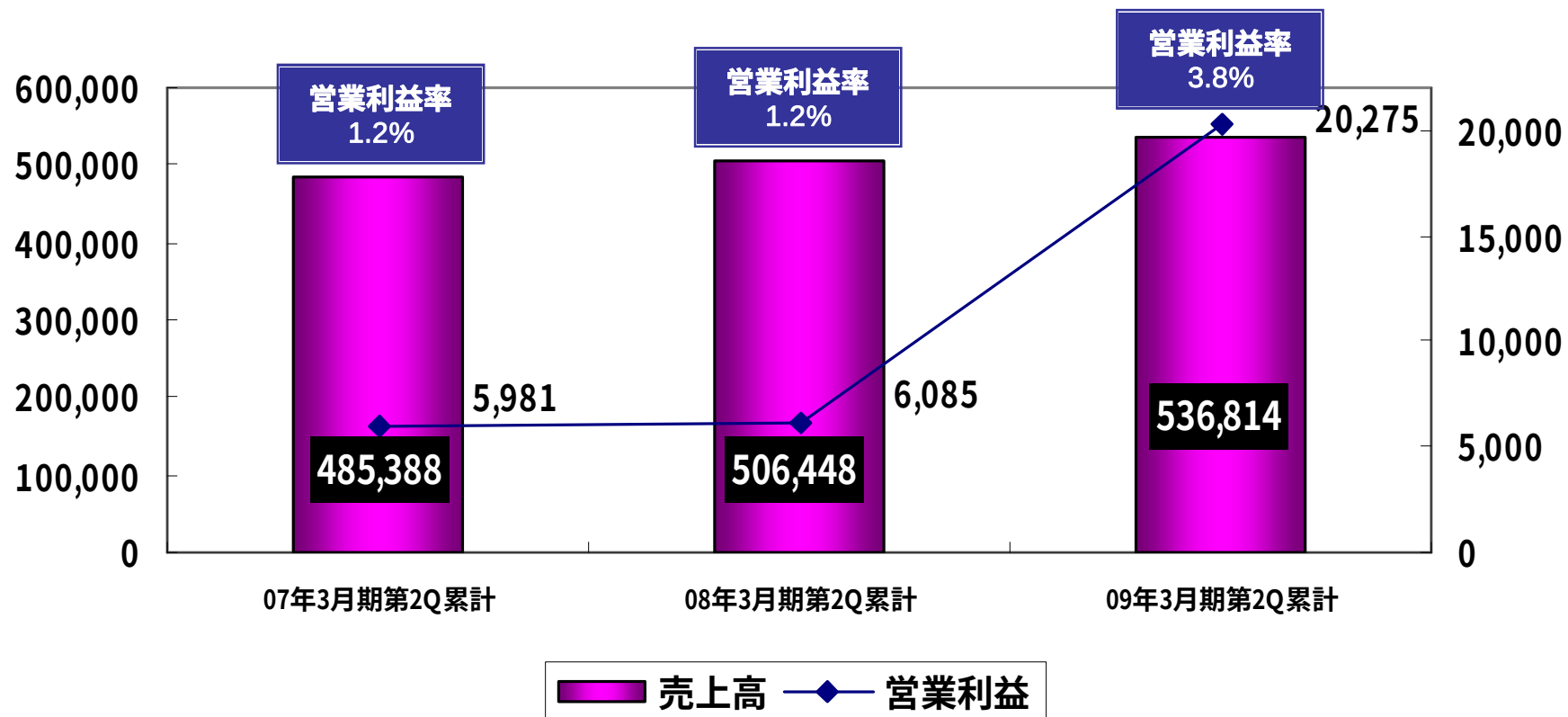
＊前年比は、対前年増減率で表示しております。

＊為替の影響を考慮した海外の外部顧客向け実質売上高は、前期比1.3%増となります。

[売上高 営業利益推移]

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)



◆オペレーティング・セグメント情報

(単位:百万円・%)

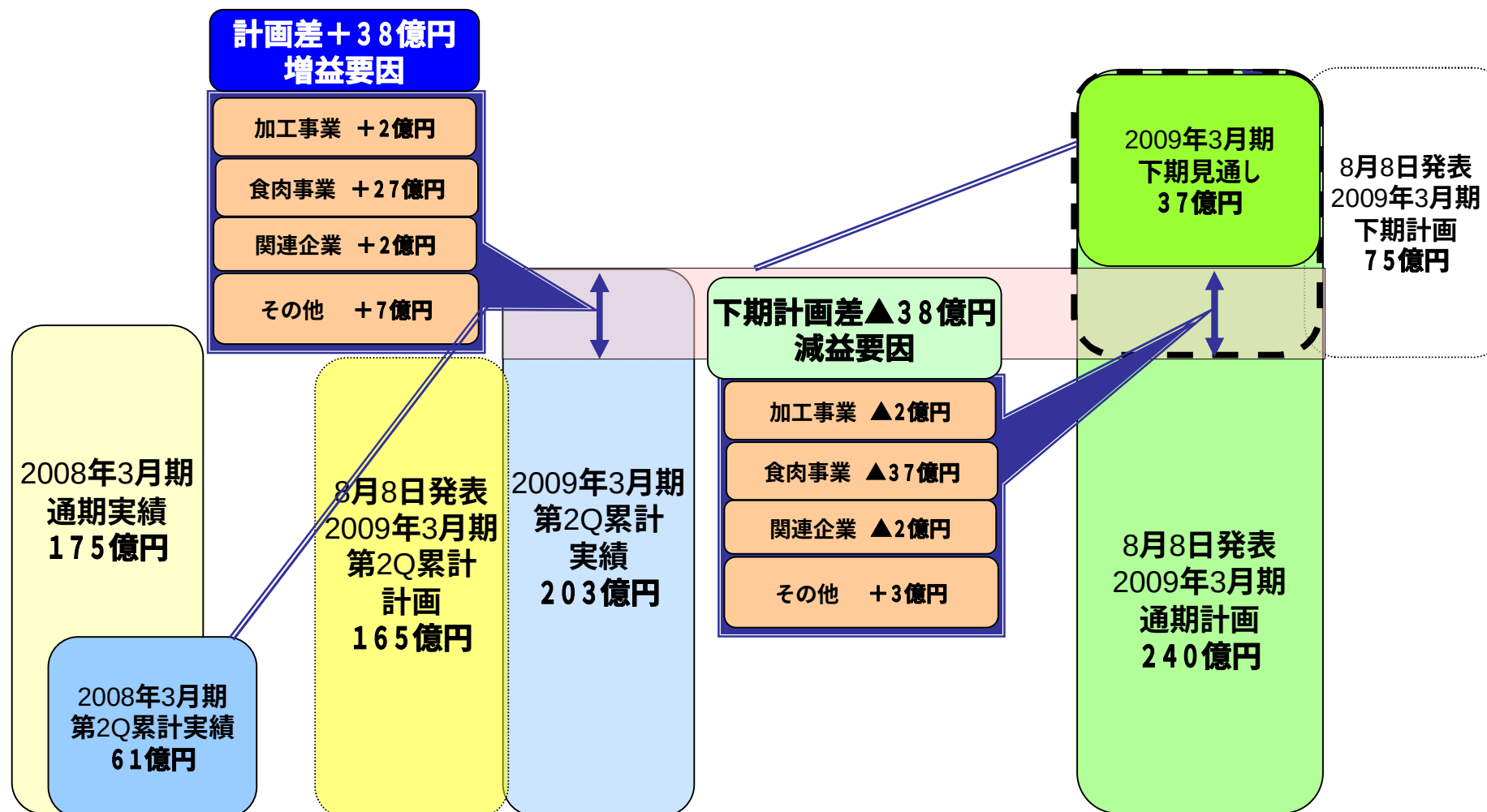
	2008年3月期 第2四半期累計実績			2009年3月期 第2四半期累計実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
加工事業本部	155,910	242	0.2	159,206	1,724	1.1
食肉事業本部	341,748	6,616	1.9	368,079	17,900	4.9
関連企業本部	65,313	▲ 690	▲ 1.1	65,467	305	0.5
消去・調整他	▲ 56,523	▲ 83	-	▲ 55,938	346	-
連結合計	506,448	6,085	1.2	536,814	20,275	3.8

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.3の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

※前年度の各セグメントの実績は、一部子会社の管轄事業部を変更したため、組替 再表示を行っております。

第2四半期累計の営業利益増益要因分析



	上期	下期	通期
8月8日発表 計画	165億円	75億円	240億円
第2Q時 実績・計画	203億円	37億円	240億円
計画差	+38億円	▲38億円	±0億円

【加工事業本部】

(単位:百万円・%)

	2008年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 第2Q累計実績	前年差	増減率
売上高	155,910	159,206	3,296	2.1
営業利益	242	1,724	1,482	612.4

【売上高の状況】

・ハム・ソーセージ、加工食品とも、2007年9月からの価格改定及び2008年6月からの加工食品の一部の商品の規格変更の影響で、販売数量は減少したが、単価上昇の効果で、加工事業本部トータルでは対前年増減率2.1%の増収。

【営業利益の状況】

・前期に引き続き、原材料価格、資材・燃料価格の高騰があり、依然厳しい状況だが、価格改定やコスト削減策の効果により、加工事業本部トータルでは約15億円の増益。

【食肉事業本部】

(単位:百万円・%)

	2008年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 第2Q累計実績	前年差	増減率
売上高	341,748	368,079	26,331	7.7
営業利益	6,616	17,900	11,284	170.6

【売上高の状況】

- ・全体的に、食肉相場が堅調に推移。特に鶏肉は、国産、輸入とも高値で推移。
- ・食肉事業トータルでは、対前年増減率7.7%の増収。

【営業利益の状況】

- ・国産・輸入鶏肉の需要増と、輸入牛肉の収益改善の効果などにより、食肉事業本部トータルでは、約113億円的大幅増益。

【関連企業本部】

(単位: 百万円・%)

	2008年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 第2Q累計実績	前年差	増減率
売上高	65,313	65,467	154	0.2
営業利益	▲ 690	305	995	-

【売上高の状況】

- ・マリンフーズは、中国産ウナギの伸び悩みがあったものの、サーモン等の他魚種を計画的に販売してカバーし増収。
- ・宝幸は、チーズの価格改定効果や、国内工場産冷凍食品の伸長などにより増収。
- ・日本ルナは、原料高騰対策として既存品の販売条件の見直しを実施した影響で、売上が伸び悩み、大幅減収。

【営業利益の状況】

- ・水産、乳製品、その他加工品ともに、原材料価格の高騰などにより、各社とも厳しい状況にあるが、水産加工品やチーズの価格改定などの利益改善策を着実に実施し、関連企業本部トータルで約10億円の増益。

[海外 主要地域別売上高]

(単位:百万円・%)

	2008年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 第2Q累計実績	前年差	増減率
海外売上高計	97,865	95,780	▲ 2,085	▲ 2.1
豪州	44,343	41,205	▲ 3,138	▲ 7.1
米州	39,833	39,759	▲ 74	▲ 0.2
その他地域	16,439	16,963	524	3.2

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

※海外売上は、豪州と米州で約80%前後を占めております。その他海外は、アジア、欧州となっております。

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。

[海外 主要地域別の売上高の状況]

- ・豪州は、牛生体の出荷頭数の減少と、皮革事業の販売数量減などにより、7.1%の減収。
- ・米州は、豚生体価格の相場の伸び悩みなどにより、0.2%の減収。

[地域別利益の状況]

- ・豪州は、コスト削減策や生産性の改善策の実施により増益。
- ・米州は、養豚事業の飼料価格高騰と相場の伸び悩みにより減益。
- ・海外トータルでは、約29億円の改善となり、約6億円の黒字。

2009年3月期 下期の見通し

1. 加工事業本部 今後の見通し
2. 食肉事業本部 今後の見通し
3. 関連企業本部 今後の見通し

●売上の拡大策

・歳暮ギフトの目標

⇒ 今期歳暮ギフトの販売個数目標は、
前年比107%増の4,820千個。

・主要ブランド・新商品の拡販

⇒ 8月20日より、単味品シェア拡大を狙い、
「**新鮮生活 糖質ZERO**」発売。
9月よりシャウエッセンCMを投入。



・チャネル別の売上状況

⇒ コンシューマーは、ハム・ソーセージ、加工食品とも
前年を上回った。
業務用は、ハム・ソーセージは苦戦したが、加工食品
は前年を上回った。

●主原料・副資材価格の高騰額見込み

・第1四半期時の見通し : 通期91億円のコストUP



・第2四半期時の見通し : **第1四半期時から変更なし**

●コスト吸収政策の進捗 (価格改定の進捗)

・第1四半期時の計画 : 通期で93億円の改善計画



・第2四半期時の計画 : **第1四半期時から変更なし**

[ギフト販売個数 08年3月期実績と09年3月期実績・目標]

(単位: 千個・%)

	08年3月期実績	09年3月期実績と目標	前年比
中元	1,601	1,696	106%
歳暮	4,512	4,820	107%
合計	6,113	6,516	107%

(09年3月期の歳暮は目標数値です。)

[09年3月期第2Q累計 主要ブランド商品売上高前年比]

シャウエッセン群	105%	中華名菜群	96%
森の薫りウィンナー	118%	石窯工房群	131%
ウィニー群	102%	プリフライ群	99%
これは便利群	98%	ハンバーグ・ミートボール群	91%

[09年3月期第2Q累計 チャネル別売上金額伸び率]

	コンシューマー	業務用	計
ハム・ソーセージ	104%	94%	101%
加工食品	101%	108%	104%

	第1四半期時 通期見込み額	第2Q累計 高騰額
主原料価格上昇額	41億円	20億円
資材価格・物流費等上昇額	50億円	20億円
合計	91億円	40億円

・第2Q累計の高騰額は、**約40億円**となった。

	2009年3月期 第1Q時計画	2009年3月期 第2Q累計実績
製造部門等の改善活動効果額計画	35億円	25億円
価格改定効果額計画	47億円	24億円
構造改革効果額計画	7億円	4億円
品種統廃合効果額計画	4億円	2億円
合計	93億円	55億円

・第2Q累計では**約55億円**の効果額で、コスト上昇額を
吸収した。

●海外事業の見通し

◆豪州事業の見通し

⇒ 世界経済の悪化による需要減により、厳しい環境になる。

◆米州事業の見通し

⇒ 米国内の需給のアンバランス化により、生体相場が回復せず、厳しい環境になる。

●海外事業の状況

◆豪州事業の状況

- ・ [牛肉事業]
為替(豪ドル)の急落は、輸出部門にはプラス要因だが、世界経済悪化による相場の急落により相殺され、収支の見通しは変わらず。
- ・ [皮革事業]
世界経済の低迷により、自動車向けレザーシートや家具向け需要が急減し、相場が大幅下落。

◆米州事業の状況

- ・ [養豚事業]
 - ①米国内の処理頭数は減少を見込んでいたが、逆に微増。豚生体相場の低迷が長期化。
 - ②米国からの豚肉輸出数量は、中国、ロシアなどの経済環境の悪化により減少。
- ・ [肥育コスト]
足元の穀物相場は下がっているが、実際に出荷される生体のコストに反映されるのは、来期以降。
今期中は、コスト高が継続。

●国内事業の見通し

◆国内生産事業の見通し

⇒ 輸入物へのシフトなどの影響で、豚、鶏ともに相場が軟調。
一方、生産コスト高は継続するため、厳しい環境となる。

◆国内販売事業の見通し

⇒ 輸入食肉の環境が一転し、国内販売相場が下がるため、厳しい環境となる。
一方国内食肉は、引き続き好調を維持する見込み。

●国内事業の状況

◆国内生産事業の状況

- ・[養豚事業]
 - ①供給量は、当初の見込みを上回る増加。
 - ②上期の相場高の影響で、需要が輸入豚肉にシフト。
⇒市場相場が、当初の想定以上の下落。
- ・[養鶏事業]
 - ①輸入鶏肉の増加の影響で、相場軟調。
 - ②年明け以降は、例年通り、相場が下がると想定。
⇒市場相場が、当初の想定以下で推移。
- ・[飼料価格]

今期中の飼料価格の下落はなく、生産コスト高が継続。

◆国内販売事業の状況

- ・[輸入食肉販売]
 - ①世界経済の悪化によって、需要急減と国際相場の急落が発生。
 - ②海外からの輸入量の急増。
⇒9月を境に、これまでの「輸入仕入れ安・販売相場高」の環境から一転、販売相場は下げ基調。
- 〈仕入れと販売のタイムラグ〉
円高に作用しているが、下期については、特に輸入鶏肉、輸入牛肉において、仕入れ時期と売上時期のタイムラグにより、逆ザヤが発生。
- ・[国内食肉販売]

国内食肉については、堅調に推移する見込み。

●水産事業の現状

- ・寿司ネタや、輸入原料の国内加工会社向け販売が順調に推移。価格改定やコスト削減の効果もあり、収益は改善。

●今後の見通し

- ・世界経済の悪化による消費の冷え込みから、堅調であった水産物需給および相場は、今後不安定になり、厳しい見通し。
- ・国内でのマグロ養殖事業は、幼魚の導入を開始。来期下期以降に水揚げの見込み。

●乳製品事業の現状

- ・チーズは、価格改定の浸透が進み、売上・利益ともに改善傾向。
- ・ヨーグルトは、新商品は好調に推移するものの、主原料不足と、原料価格の高騰により厳しい状況。

●今後の見通し

- ・乳製品原料価格は、今後は少し落ち着く見通しだが、その効果は来期以降に出る。
- ・引き続き、チーズ・ヨーグルトともに、新商品の投入や、大口ユーザーの獲得、新規販路の開拓を進め、収益性の向上を図る。

●主原料・副資材価格の上昇額見込み

・第1四半期時の見通し : 通期 22億円のコストUP



・第2四半期時の見通し : 第1四半期時から変更なし

	第1四半期時 通期見込み額	第2Q累計 高騰額
水産原料上昇額	2億円	9億円
乳製品原料上昇額	20億円	9億円
合計	22億円	18億円

・第2四半期累計の上昇額は、約18億円となった。

3. 2009年3月期 第2四半期財務データ

1. 販管費・その他収益・その他費用

2. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費

3. 2009年3月期 第2四半期連結業績指標

連結業績概要 (販管費・その他収益・その他費用)

(単位: 百万円、%)

<<販管費>>	2008年3月期	2009年3月期		
	第2Q累計実績	第2Q累計実績	対前年増減率	対前年増減額
販売費及び一般管理費	85,749	84,561	△ 1.4	△ 1,188
人件費	37,007	34,891	△ 5.7	△ 2,116
販売促進費	6,594	6,597	0.0	3
物流費	17,444	17,962	3.0	518
その他	24,704	25,111	1.6	407

主な増減要因

- ・販管費は前期比約12億円の減少となり、販管費率は1.1ポイント低下。
 - ・人件費： 転籍効果及び子会社退職給付費用の減少などにより、約21億円減少。
 - ・物流費： 燃料費の高騰による運送費の増加により、約5億円増加。

(単位: 百万円、%)

<<連結その他収益・その他費用>>	2008年3月期	2009年3月期		
	第2Q累計実績	第2Q累計実績	対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	1,674	744	△ 55.6	△ 930
受取利益・配当金	469	608	29.6	139
その他	1,205	136	△ 88.7	△ 1,069

支払利息	1,409	1,377	△ 2.3	△ 32
その他費用合計	6,779	8,610	27.0	1,831
有価証券評価損	121	260	114.9	139
固定資産減損	2,499	1,084	△ 56.6	△ 1,415
特別退職金	3,107	1,720	△ 44.6	△ 1,387
為替差損	0	5,162	—	5,162
その他	1,052	384	△ 63.5	△ 668

主な増減要因

- ・その他費用： 固定資産減損や、特別退職金は減少したものの、急激な為替相場の変動による為替差損が発生したため、トータルでは約18億円増加。

連結業績概要 (貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

(単位: 百万円、%)

《連結貸借対照表》	2008年3月期 期末実績	2009年3月期 第2Q末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	608,809	635,764	4.4	26,955
現金及び現金同等物	44,249	52,398	18.4	8,149
売上債権	110,084	118,542	7.7	8,458
棚卸資産	112,218	131,906	17.5	19,688
投資及び長期債権	31,722	31,266	△ 1.4	△ 456
有形固定資産	246,874	240,217	△ 2.7	△ 6,657
長期繰延税金資産	12,954	12,247	△ 5.5	△ 707
負債合計 (少数株主持分含む)	321,352	345,493	7.5	24,141
支払手形及び買掛金	87,296	105,238	20.6	17,942
有利子負債	183,539	186,798	1.8	3,259
退職金及び年金債務	14,299	13,709	△ 4.1	△ 590
資本合計	287,457	290,271	1.0	2,814

主な増減要因

- ・棚卸資産 : 季節変動要因による食肉在庫の増加などにより、約197億円増加。
- ・売上債権 : 売上高増加のため、約84億円増加。
- ・有利子負債 : 運転資金の増加による短期借入金の増加などにより、約33億円増加。

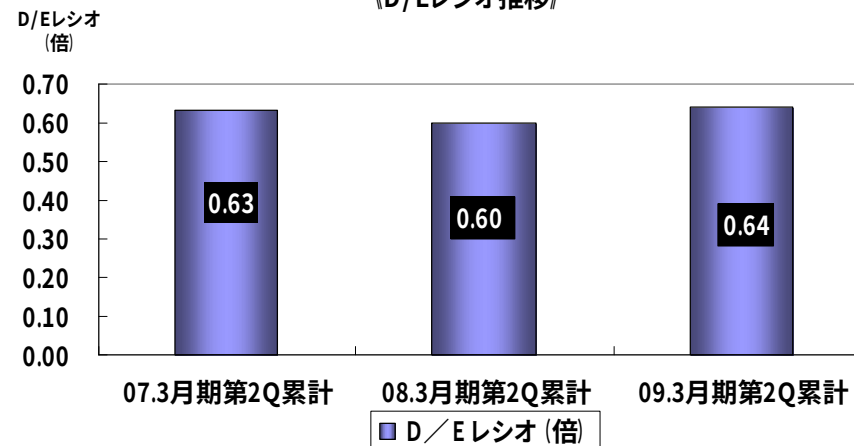
(単位: 百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2008年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 対前年増減率	2009年3月期 対前年増減額	2009年3月期 通期計画
設備投資額	9,632	9,670	0.4	38	21,000
生産設備	3,604	3,498	△ 2.9	△ 106	8,400
販売・物流設備	1,132	1,656	46.3	524	3,400
ファーム・処理設備	1,898	1,409	△ 25.8	△ 489	2,900
海外事業設備	1,129	1,174	4.0	45	2,600
その他設備	1,869	1,933	3.4	64	3,700
減価償却費	11,557	11,557	0.0	0	24,000

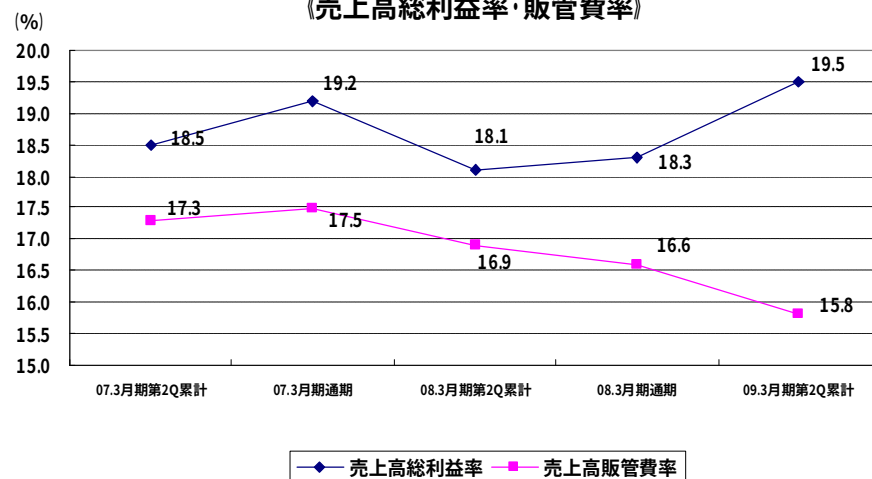
2009年3月期 第2四半期連結業績指標

《経営指標》	2007年3月期 第2Q累計実績	2008年3月期 第2Q累計実績	2009年3月期 第2Q累計実績
売上高総利益率 (%)	18.5	18.1	19.5
売上高営業利益率 (%)	1.2	1.2	3.8
売上高税引前利益率 (%)	0.9	△ 0.1	2.1
売上高当期純利益率 (%)	0.5	△ 0.4	1.2
売上高原価率 (%)	81.5	81.9	80.5
売上高販管費率 (%)	17.3	16.9	15.8
総資産 (百万円)	609,605	619,672	635,764
株主資本 (百万円)	290,188	291,605	290,271
株主資本比率 (%)	47.6	47.1	45.7
一株当り株主資本 (円)	1,271.33	1,277.86	1,272.18
一株当り当期純利益 (円)	11.10	△ 9.77	28.38
D/Eレシオ (倍)	0.63	0.60	0.64
《キャッシュフロー》(単位:百万円)			
営業活動によるキャッシュフロー	976	1,738	19,536
投資活動によるキャッシュフロー	△ 8,200	△ 7,186	△ 8,445
財務活動によるキャッシュフロー	5,990	△ 1,817	△ 2,942
期末現金及び預金同等物残高	25,946	27,217	52,398

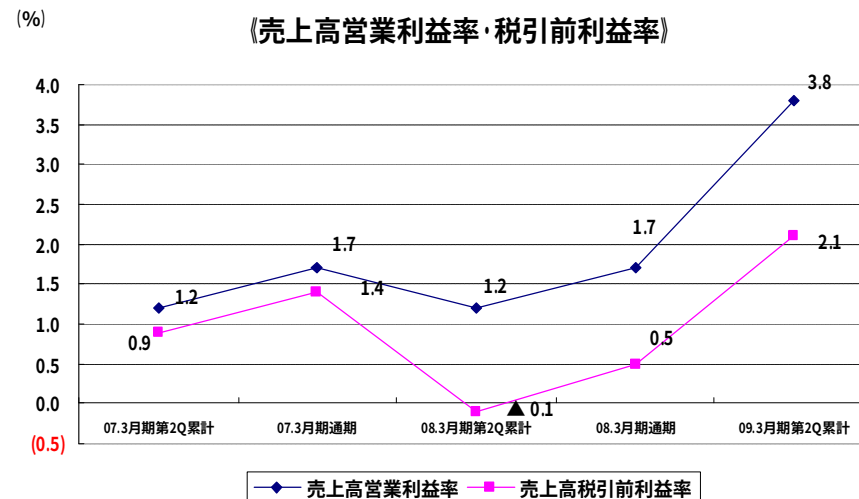
《D/Eレシオ推移》



《売上高総利益率・販管費率》



《売上高営業利益率・税引前利益率》



〒141-6014 お問合せ先
東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話:03-6748-8024
FAX:03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。
従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。